

瑞穂市社協だより



社会福祉法人
瑞穂市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

あい♡愛

No.80

2016.10(H28)

平成28年度 福祉作業所豊住園 地域交流会



2016.10.23(日)

10:00~14:00

豊住園(とよずみえん)

瑞穂市本田 85 番地 1

☎ 058-327-9947

周年

あいあい広場



社会福祉法人 瑞穂市社会福祉協議会

福祉のクイズにチャレンジ!

問 大雨で浸水した道を歩くときに役立つものとして正しいものはどれでしょう?

【A】長靴 【B】水着 【C】杖

▶ 答えは紙面をめくって探してね



特集
P5

支え合い助け合う 地域づくりをNo.2

熊本地震職員派遣 活動報告

7月17日～22日、熊本市社会福祉協議会にて支援活動を行いました。

平日は西区事務所管内のボランティア依頼者宅にお伺いし、ボランティアさんによる活動が可能かどうかを判断するために、依頼内容の確認と現場の安全性の調査をする活動などを行いました。日曜祝日は熊本市動植物園駐車場に設置された、災害ボランティアセンターの業務を支援しました。

ボランティア依頼件数は、1日あたり20件前後と当初に比べ落ち着いてきており、また、仮設住宅等への入居も徐々に始まっていましたが、いまだ避難所生活を続けておられるかたも多くみえました。

災害ボランティアセンターでは、熊本市社協の職員が中心となり運営を行っていましたが、震災から時間の経過に伴い通常業務と並行して遂行することになります。そこで、災害ボランティアセンターの運営の大きな力となっていたのが、長期にわたって活動を続けている地元のボランティアさんでした。全国から駆け付ける土地勘のないボランティアさんを依頼者宅へ送り届けたり、ゴミだしなど地元の生活ルールにそって活動内容を説明したりと、地元のかただからこそできる的確で効率的な運営をしてみえました。

災害時に全国から寄せられる様々な支援を効果的に活かし、早期の復旧・復興のためには、日頃から地域の一人ひとりが研修や訓練を通じて防災意識を高く持つことが大切なのではないでしょうか。



災害ボランティアセンター



被災者宅にて ボランティア活動の立ち合い

ボランティアに関するご質問・ご相談等は、

瑞穂市ボランティアセンターまで
お気軽にお問合せください

(瑞穂市社会福祉協議会内) **TEL 327-8610**

受付時間 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分

ボランティア登録者数
《H28.9.1現在》

団体	88団体
	1,453名
個人	149名
災害ボランティア	40名
合計	1,642名

ふくし “ホッと” ニュース

ボランティアスクール 「子ども防災塾」

8月2日、清流の国ぎふ
防災・減災センターの村岡
治道様をお招きし、小学4
年生く中学生を対象に開催
しました。家庭内D・I・Gや通
学路の危険箇所を確認する
作業を通じて、地震が起き
た時に被害を減らす方法や
自分の身を守る態勢につい
て学びました。

日頃から防災意識を高く
持ち、自分の身を自分で守
れる力を多くの子どもたち
が身に付けてくれることを
願います。



狭い道を
とおり抜けています

揺れがおさまるまで
身を守る姿勢を



自分自身の身を守ることが一番
大切なことなんだよ。



クイズの答えは



浸水すると、側溝や用水路
がわからなくなり危険です。
杖や傘などで歩く先の安全を
確かめて歩きましょう。



水害の時に役立ちそうに思
える長靴は、脱げやすく、中
に水が入ると歩けなくなりま
す。水着は肌の露出が多いの
で危険です。

「先生のお話は、心に響きました」

精神保健福祉ボランティア養成講座 公開講座

8月20日、大阪府立大学地域保健学域 准
教授 三田優子様をお招きし、「精神障がい
を持つ人の地域生活支援」についてご講演い
たできました。

講演では、実際の体験や活動をもとに、わ
かりやすく、ときにはユーモアを交えながら
お話いただき、涙あり笑いあいの2時間半は、
とても短く感じられ
ました。聴講された
皆さんにも、有意義
な時間だったのでは
ないでしょうか。

今回の講演で得た
こと、感じたことを
胸に、「誰もが自分ら
しく暮らせるまち」
を目指して考え行動
しましょう。



2市1町のサロンボランティアが 楽しく交流

7月29日に、2市1町ふれあい・
いきいきサロン交流会が開催され、
瑞穂市、本巣市、北方町のサロン
ボランティア147名が参加しま
した。

前半は各市町1サロンが年間行
事について発表しました。瑞穂市
からは、ふれあいサロンもみじ会(呂
久地区)が、「地域の特性」や「計
画づくりで大切にしていること」
などのお話を交えながら、発表し
てくださいました。

後半の交流会では、「私のサロンの
自慢話」など、参加者同士楽し
く交流しました。

参加者からは、「他サロンの話が
参考になった」「短い時間だったが
充実していた」など感想をいただ
きました。

年間行事発表の様子



交流会の様子



参加者募集

子育て応援ボランティア養成講座

子どもを育てやすい地域にするためには、子育て中の親はもちろん、祖父母世代や地域の皆さんが子育てに関わり、支援していくことが求められます。

そこで、地域においてさまざまな子育て支援の活動を行うかたを養成し、地域で活躍していただくことを目的に開催します。



<講座を受講するとこんなことができます！>

- ・講座修了後は、ホリパパサロン（子育てサロン）や託児ボランティアとしての活動ができます。
- ・岐阜県の「子育てマイスター」の登録ができます。
- ・その他、知識を生かして、自分たちでやってみたい子育てに関する活動を考え、新しい活動に挑戦することもできます！

《こんなかたにおすすめです》

- ・何か、地域で子どもに関わるボランティア活動がしたい！
- ・子育てに関することを学んでみたい！
- ・一緒にボランティア活動する仲間を見つけたい！

<開催日程・内容・場所>

研修	日 時	内 容	場 所
1	11/8 (火) 10:00～12:00	①子育ての今と昔 ②楽しく、参加者交流会	総合センター5階 第1～3会議室
2	11/15 (火) 10:00～12:00	①～知ることから始めよう～ 瑞穂市の子育て支援サービスについて ②子育て中の親さんの心に寄り添う話の聴き方	総合センター5階 第1～3会議室
3	11/21 (月) 13:00～15:00	①子どもの病気や事故の対応について ②安全に子どもを預かろう ～託児で起こるヒヤリハット～	総合センター5階 第1～3会議室
4	11/29 (火) 10:00～12:00	①乳幼児のこころとからだの発達について ②発達障がいについて ～育てにくい子にはわけがある～	総合センター5階 第1～3会議室
5	12/6 (火) 13:00～16:00	乳幼児のための救急救命法	総合センター4階 和室研修室
6	12/13 (火) 10:00～12:00	すぐに役立つ遊びを伝授！ 身近なモノで作る楽しいおもちゃ作り	総合センター2階 あじさいホール
7	12/20 (火) 10:00～12:00	楽しく交流会 ～自分たちにできることを考えてみよう～	総合センター5階 第1～3会議室

※別日程で実習有り

■ 後 援 瑞穂市

■ 対象者 市内在住・在勤の40歳以上のかた（原則として、7日中、6日以上受講できるかた）

■ 定 員 30名 ※先着順。定員になり次第締め切ります。

■ 申込み 10/26（水）までに、本会へお申込みください。

※必要事項は①氏名（ふりがな）、②住所、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥受講可能日です。

※申込み締切後、受講決定通知書をお送りします。

【主催・問合せ】

瑞穂市社会福祉協議会（瑞穂市別府1283番地）

TEL 327-8610 FAX 327-5323

E-mail chiiki@mizuho-shakyo.org （件名「子育てボラ」でお申し込みください）

【QRコード】



前回の特集では、なぜ今支え合い助け合う地域づくりが必要なのかについてお伝えしました。
今回は、「ちょっとした困りごとでの支え合い・助け合い」についてお伝えします。

5年後、10年後の安心な暮らしのために…

今後ますます高齢者の数は増え続け、それを経済的また介護の担い手として支える若者が減っていきます。これまで、当たり前を受けていた介護保険サービスですが、今まで通りに受けることが難しくなることが予想されます。

また、介護保険サービス等の公的サービスの枠の中では対応しきれない、日常生活上のちょっとした困りごと、歳を重ねるにつれて増えてきます。

自立した生活を送っているかたの中にも、スーパーまでの移動手段がない、電化製品の使い方が分からない、ゴミの分別ができないなどの「ちょっとした困りごと」を抱えて生活しているかたもみえます。

瑞穂市でも、おひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増えてきている今日、安心な暮らしにはご近所同士の助け合いの仕組みが不可欠です。

自分の「得意なこと」が隣のあの人の「助けてほしいこと」かもしれません。自分の「助けてほしいこと」が隣のあの人の「得意なこと」かもしれません。

お互いの「助けてほしいこと」を補い合える関係を地域の中で築いていければ、きっとこれからも今の住まいで、豊かで安心した生活が続けられるのではないのでしょうか。



電球が切れてしまって困ったわ…。

電球交換ならまかせて！



洋服のボタンがとれてしまって…。

お裁縫なら得意よ！



そんな、支え合い助け合いの仕組みづくりについて皆さんと一緒に考えるために、「生活支援ボランティア養成講座」を開催します。詳しくはP10をご覧ください。

～私たちも地域福祉活動を応援しています～

▶介護老人保健施設 巢南リハビリセンター
(入所・ショートステイ・通所リハビリテーション)
多職種からなるチームケアを行い、生活目標を達成する為のリハビリを提供します。

▶医療型サービス付き高齢者住宅巢南
要介護度や医療依存度が高い方の暮らしに医療介護という安心を提供します。

▶歩けるデイサービス巢南

▶脳活性化デイサービス巢南
～ 最新のリハビリ機器導入 ～



コグニバイク



Honda 歩行アシスト



医療法人清光会 名和内科

瑞穂市重里1996 TEL.058-328-3387

すみれの家「発電機を設置したの巻」

瑞穂市古橋1635-1
☎328-7187

8月3日にすみれの家に発電機を1台設置し、職員一同で使用訓練を行い、災害に対する意識を高めました。購入業者から使用の説明を受け、基礎的な使用方法や、「ガソリンは1年くらいで車に移し替えて使い切る」等の基礎知識を学びました。

本施設は、福祉避難所として瑞穂市と協定を結んでおり、災害時の際に、「要配慮者の受け入れ」を行います。しかし、安定した電力の供給がなければ福祉避難所としての機能を果たせないため、今回の購入に至りました。

今後も定期的に訓練を行い、職員、利用者一同、防災意識を高めていきます。



真剣に使用訓練をする職員ら



災害に備えよう

豊住園からこんにちは！

瑞穂市本田85-1
☎327-9947

7月1日（金）お菓子の城と桃太郎神社に行ってきました。

毎日お菓子作りをしている就労継続支援B型の利用者は、ずらりと並んだ素敵なお菓子を目の前にし「可愛い、すてき、きれい」と感嘆の声を上げていました。

帰りには成田山でお参りをし、「お菓子の注文がたくさんきますように!」と、お願いをしました。

普段は作業に追われる毎日ですが、体験実習を通して貴重な時間を過ごすことができました。



なんと、電車のお菓子も！



笑顔でにっこり



就労継続支援B型とは？

障がいを持つ人たちが、生産活動を通じて、就労に必要な訓練等を行っています。

地域包括支援センターだより

瑞穂市別府1283番地（総合センター1階） ☎327-4118

考えよう！ 高齢者虐待について

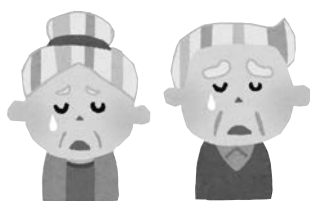
「高齢者虐待」という言葉を聞いたことはありますか？

介護者（養護者）が介護負担の増加や介護方法が分からないなどの理由から追い詰められ、虐待に発展してしまうこともあります。

高齢者虐待は誰にでも起こりうる身近な問題と捉えて、家族や地域で支え合っていくことが大切です。



○高齢者虐待とは？



高齢者虐待防止法では、

高齢者（65歳以上の人）に対する「養護者（高齢者を養護する家族・親族・同居人など）による高齢者虐待」及び「養介護施設従事者（介護施設の職員など）などによる高齢者虐待」

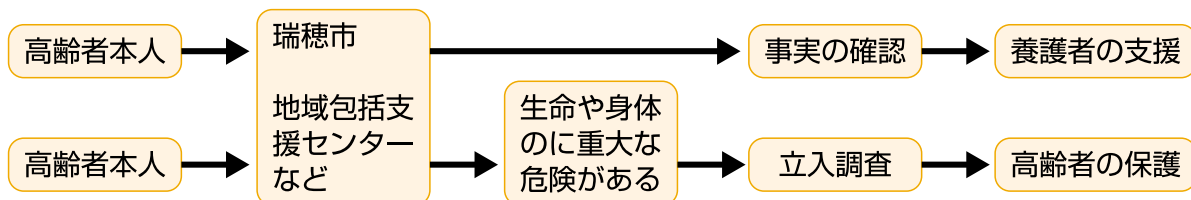
と定義されています。

○こんなことが虐待になります

身体的虐待	・ たたく、つねる、蹴る、無理やり食事を口に入れる、やけどを負わせるなど ・ ベッドに縛り付けたり、薬を過剰に飲ませたりすること
介護・世話の放棄・放任	・ 水分や食事を与えず、脱水や栄養失調の状態にするなど ・ 入浴させない、ゴミを放置するなど、劣悪な環境で生活させるなど
心理的虐待	・ 排泄などの失敗を笑ったりして恥をかかせるなど ・ 怒鳴る、ののしる、悪口を言う、子ども扱いする、無視するなど
性的虐待	・ 懲罰的に下半身を裸にして放置するなど ・ 嫌がる部位に触れたり、性的行為を強要するなど
経済的虐待	・ 生活に必要なお金を渡さない、使わせないなど ・ 自宅を無断で売却したり、年金などを本人の意思・利益に反して使うなど

○虐待にあっていない人がいたらどうしよう…

地域包括支援センターや瑞穂市にご相談ください。



介護は一人で抱えこまないで、さまざまな制度やサービスを上手に利用しましょう。

地域包括支援センターでは、介護の負担やストレスを軽減するためのサービスを紹介したり、情報を提供いたします。

まずは、ご相談ください。



じぶんの町を良くするしくみ

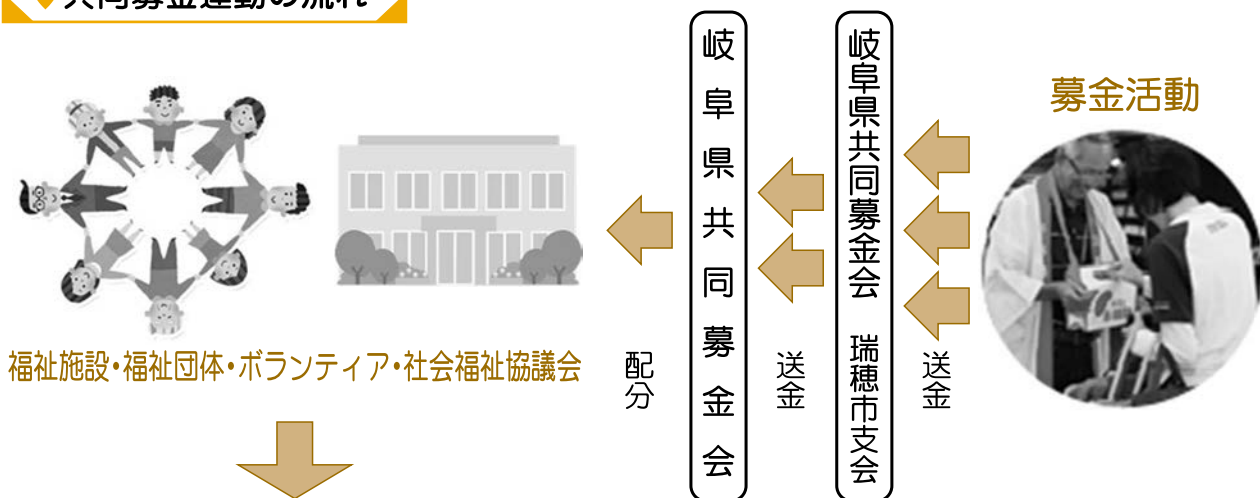
共同募金運動が 始まります！



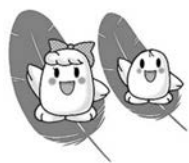
10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。皆様に支えられ共同募金運動は2016年70回目の運動を迎えます。

集められた募金は共同募金会瑞穂市支会を通して岐阜県共同募金会へ送られ、瑞穂市や岐阜県の福祉活動、災害時の備えなどに関わる活動に配分されます。皆様からのあたたかい心を共同募金にお寄せください。

♥ 共同募金運動の流れ



募金の使いみち 各団体の活動を通して地域へ還元されます



瑞穂市の募金目標額
(歳末たすけあい募金を含む)

ご協力をお願いします！

10,273,000円

♥ 法人募金の募集をいたします！

瑞穂市内の法人様に、募金の呼びかけをしています。

ご協力いただける法人様は、ご案内をさせていただきますので
下記まで、ご連絡をお願いいたします。ご協力をお待ちしております。

【連絡先】 岐阜県共同募金会瑞穂市支会 担当：有田

TEL・FAX 058-328-5174



インフォメーション

～ Information ～

申込み・問合せ先
瑞穂市社会福祉協議会
☎327-8610

チェック



見逃さない！
ここ“チェック”

平成28年度 福祉作業所 豊住園地域交流会

あいあい広場 20周年感謝祭



日時 平成28年10月23日(日)

10:00～14:00

会場 福祉作業所 豊住園
瑞穂市本田85番地1

●催し物●

すなみ富有太鼓 ジャグラー3 Ta(大道芸)
餅つき大会 健康チェックコーナー

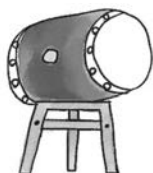
●お店●

感謝鍋 みたらし団子 焼きそば カレーライス
日用品バザー 手作りお菓子などなど 他にもたくさん出店予定
お問合せ先

058-327-9947 (豊住園)

＜豪華賞品が当たる＞
豊住園保護者会主催
大抽選会

※商品は、
ご寄附いただいた
ものです



ホリパパサロン 参加者募集



「ホリデーパパサロン」の略称です。

お休みの日にお子さんと一緒に遊ぶ時間をつく
ってみませんか？

- ▼内 容 親子でリトミック遊び
- ▼先 生 リトミック教室 わおんのいえ
- ▼日 時 11月5日(土) 10時～12時
※リトミック遊びは10時30分～
- ▼会 場 牛牧北部防災コミュニティセンター
集会室(十九条413-1)
- ▼対 象 市在住の0歳～3歳11か月までの
お子さんとお父さん
(お母さん、祖父母の参加も可)
- ▼定 員 20組の親子(先着順)
- ▼参加費 1人50円
- ▼託 児 乳児、小学生以下の兄弟を託児
- ▼申込み 10月28日(金)までに、直接本会へ
お越しいただくか、電話(☎327-8610)、FAX、メールにてお申込
み下さい。
(FAX及びメールの連絡先は、裏面
に記載)
- ▼当日の連絡先 080-6923-6501

布生地 of 寄付を募集しています

“可愛い柄”の布生地 of 寄付を募集しています。
皆さんからいただいた布生地は、すみれの家
の利用者が、ハンドメイド商品の材料として
使用させていただきます。

▼問合せ先

福祉作業所すみれの家

☎328-7187



善意 of 寄附 ありがとうございました

(順不同・敬称略)

匿名(平成28年8月3日) 1,000,000円

JAぎふ 穂積支店、巣南支店 3,270円

(平成28年5月31日～8月16日)





生活支援ボランティア 養成講座

参加者
募集

「いつまでも住み慣れた場所で、顔なじみの人達に囲まれて暮らしたい！」

歳を重ねるにつれてできなくなってくる、日々のちょっとしたあれこれ。公的サービスではまかないきれない、そうした困りごとを解決できれば、その願いを叶えることができるかもしれません！

解決のための仕組みづくりについて一緒に考えませんか？

生活支援ボランティア活動のメリット

- ①将来、自分が高齢になったときに支え合いの仕組みができていと安心。
- ②高齢者等の生活をサポートする活動自体が、自分自身の介護予防になる。
- ③活動を通じて生きがいや新しい仲間ができる。
- ④地域の人々のつながりが強くなり、災害時の対応や防犯に役立つ。

1日目	11月22日(火) 10:30～15:00	①介護保険制度について ②障がい者福祉制度の概要 ③生活支援活動について ④高齢者の心理・接し方
2日目	11月28日(月) 11:00～15:00	①障がい者の心理・接し方 ②介護技術（演習）
3日目	11月30日(水) 13:00～15:10	①生活支援活動の実践 ②これからの活動について

定 員：30名

対象者：市内在住のかた、原則3日間受講できるかた

場 所：総合センター5階第1～3会議室

受講料：無料

申込み：平成28年11月15日（火）までに、電話、FAX、E-mailでお申込みください。

（必要事項）氏名（ふりがな）、住所、電話番号、年齢

メールはこちらから！ chiiki@mizuho-shakyo.org

件名「生活支援ボランティア」で、必要事項を入力してお申し込みください。



この機関誌は、赤い羽根共同募金配分金及び会費により発行しています



地球に優しい植物油を使用した
インキで印刷されています。